

米子市議会は、キッチリと使命を果たしていますか！

市民は、選挙で議員（定数 26）を選んでいます。「会派」を望んでいません。

市議会は、改選前に「議会基本条例」と「議会議員政治倫理条例」を制定した。「議会基本条例」は、議会の活動原則を定め、市民の負託に適切に応えたと規定し、

「見える議会」

「開かれた議会」

努めていますか

市議会は、議員定数（26）をもっと組織すると定めてある。市民は、選挙で議員を選んだ。しかし、改選後の議会は、三会派連合（蒼・信・公）の議会ホスト独占以来、三会派だけの協議が先行し、全議員の意見が議会運営に反映されていない。これは、「開かれた議会」に背く数の横暴そのもので、議会制



「議会議員政治倫理条例」は、人格と倫理の向上に努め、自己の利益を図ることのないようにとした。議員は、この条例を研磨し、議会の質的向上に努めることだ。



民主主義になじまない。市民は、選挙で「会派」を望んでいない。地方議会は、チェック機能を働かせて議決をする機関である。議会の多数派が、与党化してチェック機能を怠れば、議会は市民に背き、市長の追認機関となる。

議員の定数削減

活かされていますか

六月定例会から、常任委員会を4・3委員会に統合する。その理由に、「委員7と6は、議論のバランスがとれていない」から、「9と8に、欠席を考えて。多くの意見が反映できる」。この背景に、委員長の人材補完とホスト独占の愚作が透けて見える。委員会審議は、数から「質」だ。

「市民合意」を無視した

「附帯決議」

3月定例会最終日、突如、三会派から、議員提出の議案52号が提案された。

議案は、米子城跡保存整備事業の推進にあたって、市民の理解を得られるよう周知を図れと、市長を叱咤激励する内容の「附帯決議」である。

三会派の議員は、旧城の庭（三の丸跡）を守り、史跡公園を造ることが、市民から負託された使命という姿勢だ。

市長提案の「史跡公園計画」は、市民の合意形成が図られていないこと、事業効果の不透明など、不確実性の多い事業計画となっている。

「史跡公園計画」に取り込む湊山球場地は、2・6haの広さで、中心市街地に残された最後の市民の「宝」である。この市民の「宝」を、旧城の庭づくりに閉じ込めるのか。それとも、鳥大医学部と連携し、地方創生の街づくりに活かすのか。重責の選択だ。議論を満たしていない、事案の「議会決議」は数の暴挙だ。

湊山球場の一面を含む民有地（三ヶ所）の買い上げと湊山球場の「国史跡指定の追加」を前提とする、「史跡公園化事業」を推し進める「附帯決議」に、「賛成の議員」と「反対の議員」一覽

（反対の議員8名）（ ）会派名称

（賛成の議員17名）（ ）会派名称

「赤信号・皆で」ですか

中田	杉谷	湯浅	矢田	安田	村井	三穂	三嶋	前原	田村	門脇	尾沢	今城	稲田	伊藤	安達	岩崎
利幸	第士郎	敏雄	貝香織	篤	正	野雅俊	秀文	茂	謙介	一男	三夫	雅子	清	ひろえ	卓是	康朗
（信風）	（コモンズ）	（蒼生会）	（公明党）	（公明党）	（信風）	（蒼生会）	（蒼生会）	（公明党）	（蒼生会）	（蒼生会）	（蒼生会）	（公明党）	（信風）	（信風）	（信風）	（蒼生会）

遠藤とおる

（一院クラブ）

岡村	土光	国頭	山川	矢倉	岡田	戸田
英治	均	靖	智帆	強	啓介	隆次
（共産党）	（希望）	（希望）	（希望）	（希望）	（無所属）	（無所属）

市民の合意をめざします